

令和5年度第3回宇都宮地域医療構想調整会議
並びに宇都宮構想区域病院及び有床診療所会議合同会議

参
考
資
料
2

令和6（2024）年3月5日

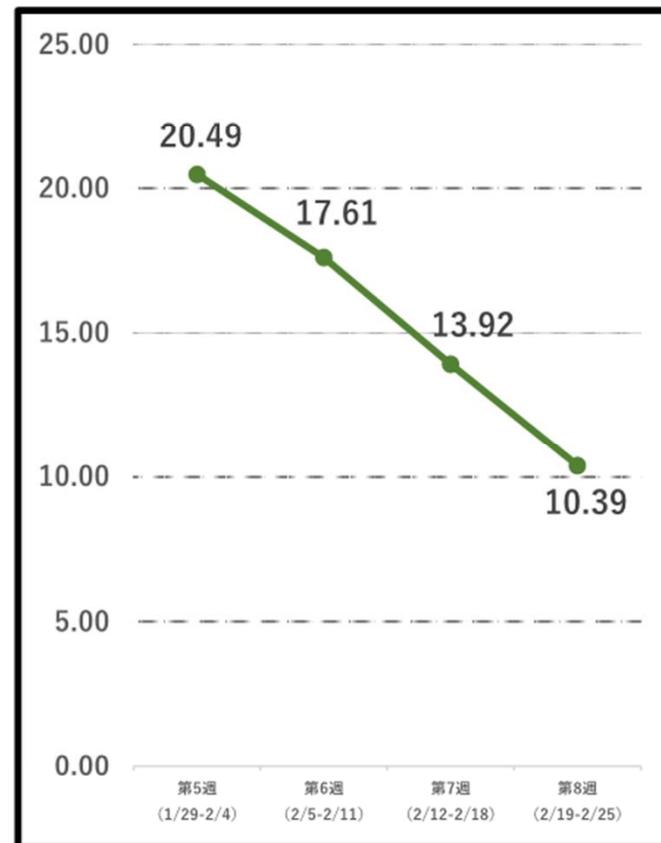
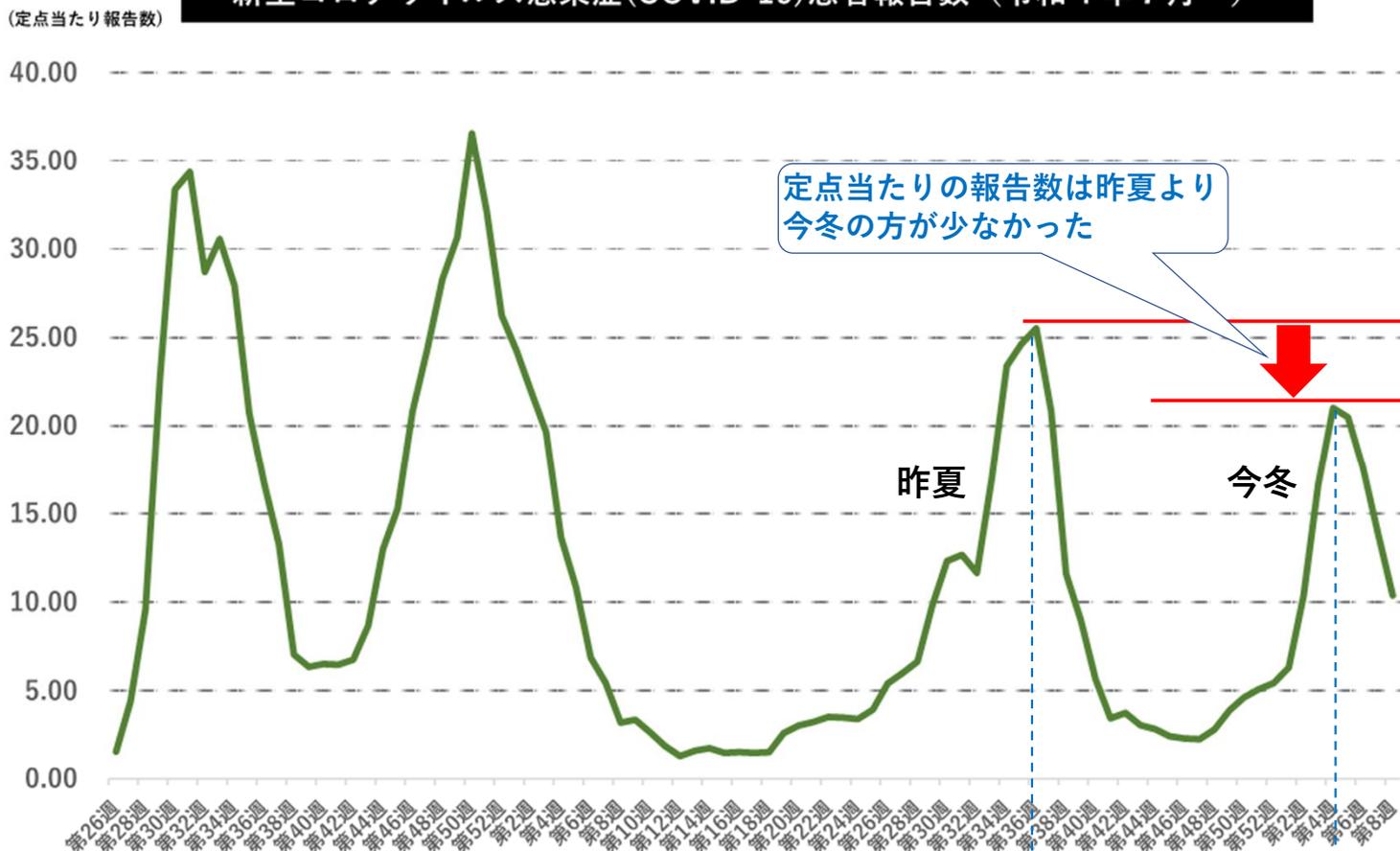
今冬の医療負荷の状況及び課題等について

栃木県 保健福祉部 医療政策課

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染動向（定点当たり報告数）

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者報告数（令和4年7月～）

直近4週間の推移



昨夏最大は、25.51人（第36週（9/4～9/17））

今冬最大は、21.01人（第4週（1/22～1/28））

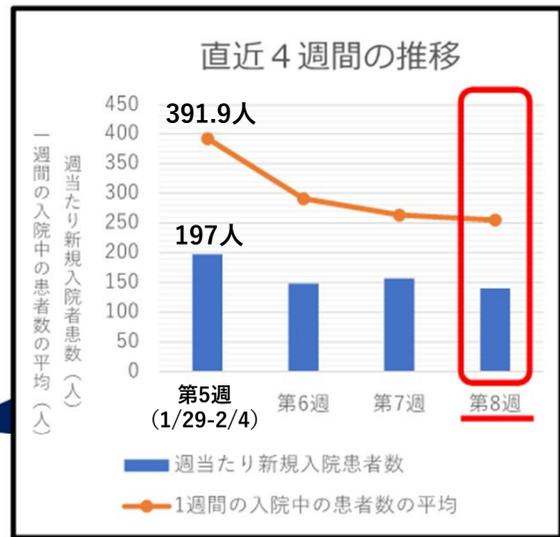
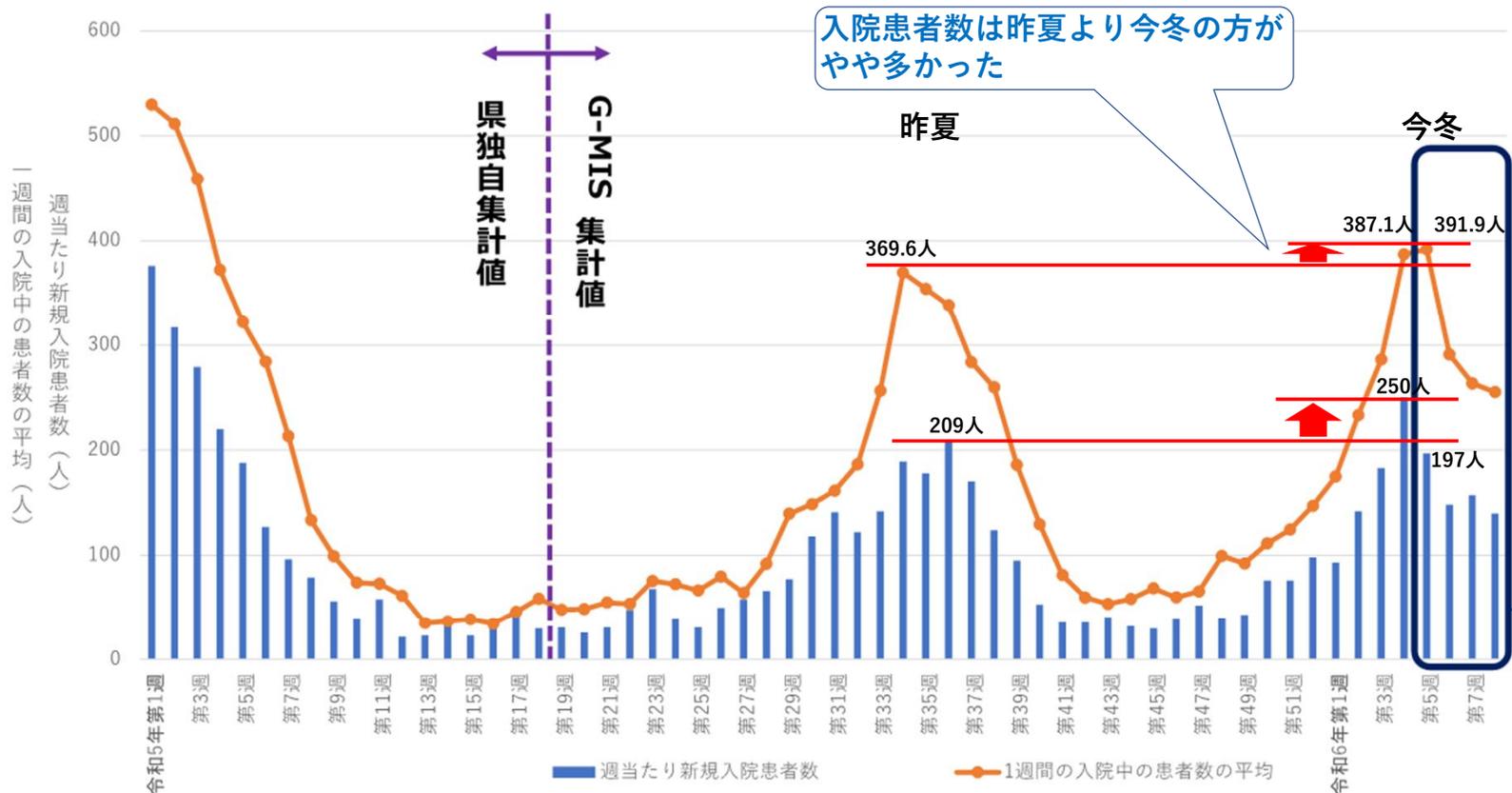
※令和4年第26週から令和4年第39週までは、全数把握による感染者数のデータを基に、県が定点当たり報告数を集計したものです。

令和4年第40週から令和5年第18週までは、全ての医療機関に求めていた感染者数の日次報告を基に、国が定点当たり報告数を集計したものです。

週ごとの値は、1週間（月曜日から日曜日まで）の報告数の合計を定点医療機関数で割ったものです。（例 令和5年第1週：令和5年1月2日から1月8日まで）

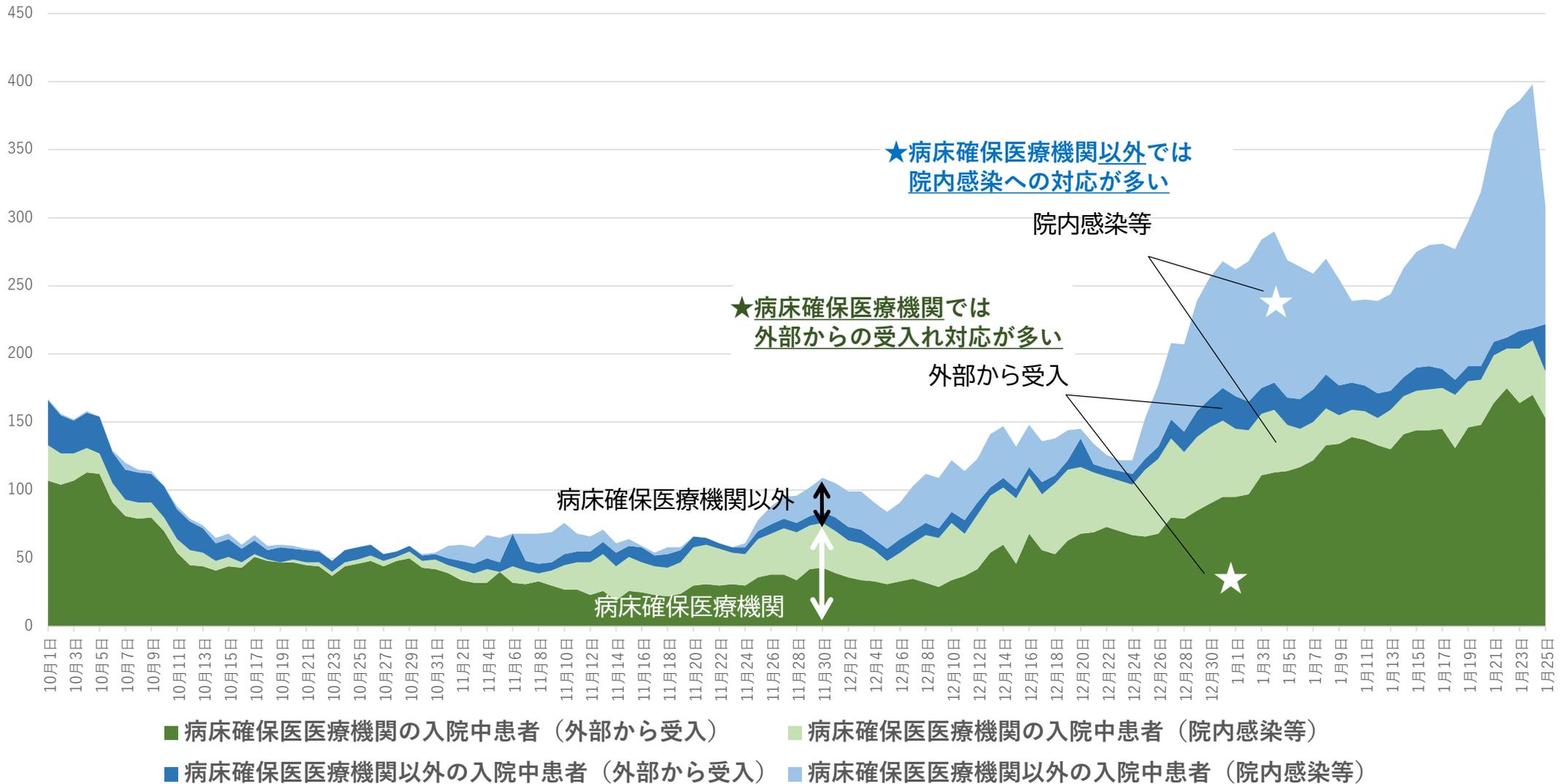
新型コロナウイルス感染症の入院中の患者数の平均等の推移について

✓ 令和6年第8週（2/19～2/25） ページに合わせる 数は140人、1週間の入院中の患者数の平均は255.1人
 現在のページが画面に収まるように表示します。

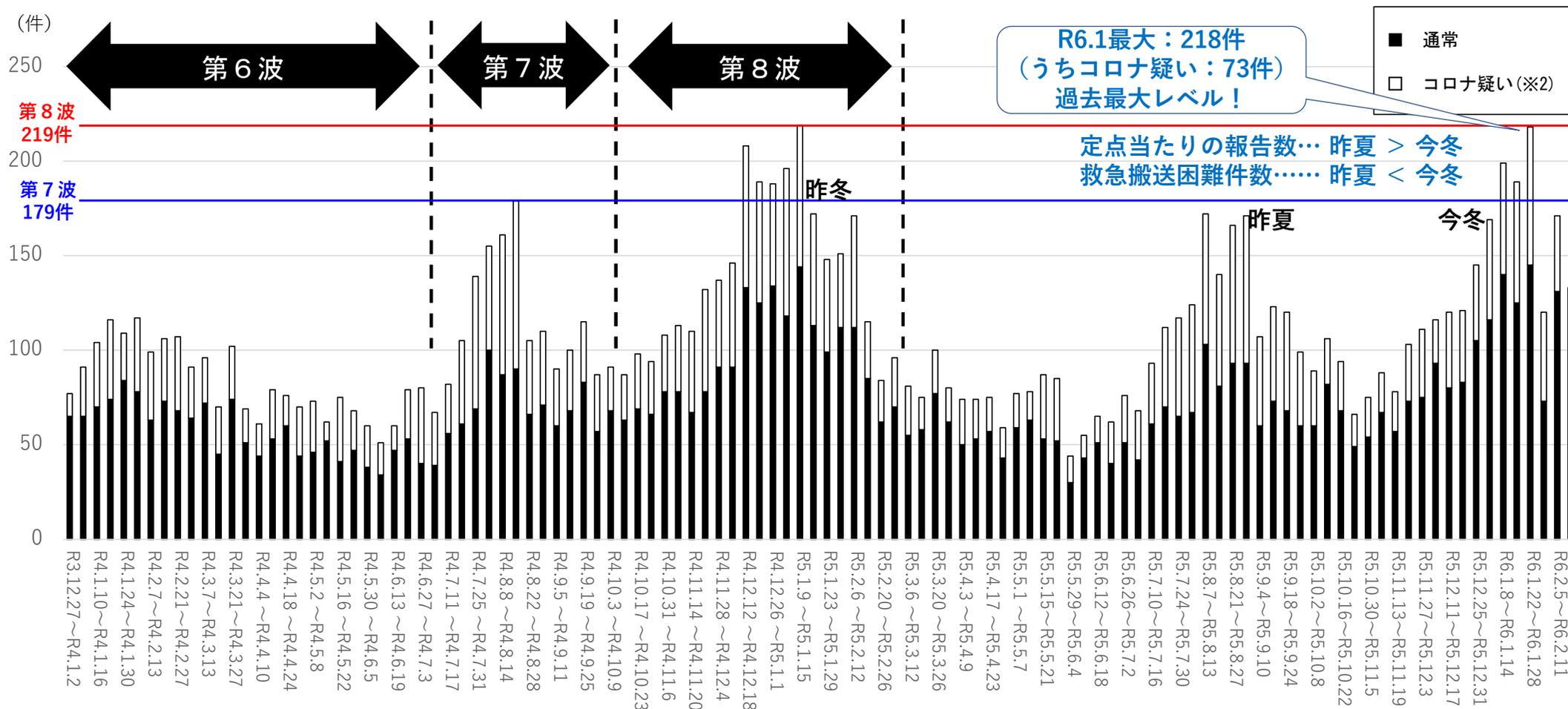


令和6年2月28日（水）時点のデータに基づくものです。
 ※令和5年5月7日までは入院受入医療機関からの報告をベースに県が独自に集計、5月8日以降はG-MISデータを抽出した結果を集計しています。
 なお、遅れて報告されたり修正されたりする場合がありますため、集計値は暫定値となっています。

R5.10以降の新型コロナ入院患者数の推移【R5.10.1~R6.1.25】



コロナ禍における救急搬送困難^(※1) 件数推移 (R3. 12. 27~)



(※1) 「医療機関への受入照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

(※2) 体温37.0℃以上の発熱、呼吸困難等を認めた傷病者に係る事案 (R5. 5. 8以降は左記に加え「通報内容等によりコロナ陽性者と推測される傷病者に係る事案」も含む)

今冬の医療（入院・救急）負荷の状況

医療ひっ迫：あり

- ・冬場で脳卒中、急性心筋梗塞等の患者が増える中、コロナ、インフルその他の感染症流行等も加わり、医療ニーズが高まっている。
- ・急性期を過ぎた患者の転退院が進まないために病床が埋まってしまっている。
- ・救急の受入れ要請が多い上に、病床に空きがなく、受入制限を行わざるを得ない時もある。
- ・未だに軽症コロナの受入れが進まない病院もあり、病床確保医療機関に入院紹介や救急受入れが集中することがある。

【新型コロナ等による影響】

- ・リハビリ病院でクラスターが発生し、脳卒中等の転院が制限されている
下り転院できず目詰まり⇒ 急性期病床が空かない⇒ 救急の受入制限をせざるを得ない
※救急受入したくともできない状況となっていた
- ・医療従事者の感染によりマンパワーが減少し、受入制限せざるを得ない状況となった
- ・コロナ、インフル等感染症患者対応のため個室が埋まり、発熱患者を含む新たな感染症患者の受入が難しくなった